

I 環境保全団体、学校等による調査

I 環境保全団体、学校等による調査

1 調査の目的

水質検査がその瞬間の水の状態を評価する方法であるのに対し、川に棲む水生生物（底生動物）の種類や数を調べると、より長期的な水環境を知ることができます。また、底生動物の調査には特殊な器材も不要なため、比較的簡単に実施できるという利点があります。

本調査は、環境保全団体や学校等（以下、「環境保全団体等」とする。）が「水生生物調査」や「水質の簡易調査（パックテスト）」を実施することにより、身近な川の水環境についての関心を高め、地域における水環境保全活動を支援することを目的に実施しました。

2 調査方法

熊本県が作成した「川の水環境・調査のてびき」（平成7年3月発行、平成23年10月改訂、熊本県環境生活部環境局環境保全課）に準じ、水環境の快適さを表I-1に示す5段階とし、川の地形と流域の土地利用状況（評価基礎点）、水質、川底、底生動物の4項目の評価を実施しました。

なお、調査は環境保全団体等が自ら企画し、県環境保全課及び管轄保健所等と協力して実施しました。

3 調査結果の概要

環境保全団体等26団体がのべ59地点で調査を実施し、のべ1,266人が参加しました。調査実施団体等の内訳は、学校関係が9団体、環境保全団体関係が17団体でした。

また、調査場所59地点の内訳からは、緑川水系（16地点）や白川水系（14地点）、菊池川水系（13地点）などで特に熱心な活動が実施されていることがうかがえました。

・ 指標生物及び簡易水質調査結果（表I-2）

生物から見た水環境評価では、調査地点23地点中、評価値Ⅰ「快適な水環境」が12地点、評価値Ⅱ「親しめる水環境」が4地点、評価値Ⅲ「不快を感じない水環境」が5地点、評価値Ⅳ「多少不快な水環境」が2地点、評価値Ⅴ「不快な水環境」は0地点と大半の地点において比較的良好な結果が得られました。

一方、水質から見た水環境評価では、調査地点57地点中、評価値Ⅰ「快適な水環境」が18地点、評価値Ⅱ「親しめる水環境」が22地点、評価値Ⅲ「不快を感じない水環境」が13地点、評価値Ⅳ「多少不快な水環境」が3地点、評価値Ⅴ「不快な水環境」は1地点でした。

※ 調査を実施した59地点中、生物または水質の水環境評価に必要な項目が全てそろっている地点のみの集計としています。また、環境保全団体等の個々の調査結果等（一部の団体のみ抜粋し掲載）を7ページ以降に示しました。

表 I - 1 川の水環境の快適さの表現（評価値）

階級	川の水環境の快適さ	例えば（感じることなど）
I	快適な水環境	清冽な水の冷たさを感じる さわやかに自然を楽しめる ヤマメ、タカハヤが生息している
II	親しめる水環境	水泳や水遊びができると感じる 水や水辺がこちよく感じる アユ、ウグイ、カワムツが生息している
III	不快を感じない水環境	素足で水の中に入れると感じる 川面や水辺に親しみを感じる ヨシノボリ、オイカワ、コイが生息している
IV	多少不快な水環境	素足では水の中に入りたくない 水辺に近づいて不快感がない程度 コイ、フナ、ナマズが生息している
V	不快な水環境	きたなくて、川では遊べないと感じる 水辺に近よりたいと感じない

表 I - 2 平成 25 年度における県内の団体の参加状況及び調査結果

調査 番号	団体 番号	調査 項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数 (のべ)	調査 日	水質 評価	生物 評価
1	1	水質	次世代のためにがんばる会	水無川	水無川	八代市	大正橋	18	7/9	V	-
2		水質		水無川	水無川	八代市	八代四中付近	18	7/9	III	-
3		水質		水無川	水無川	八代市	ホテルの里公園	18	7/9	-	-
4	2	水質	大江田子ども会	菊池川	菊池川	和水町	コミュニティセンター 付近	32	8/4	II	-
5		水質		菊池川	菊池川	和水町	コーポ坂本付近	32	8/4	III	-
6		水質		菊池川	菊池川	和水町	菊池川樋門付近	32	8/4	III	-
7	3	生物& 水質	豊野町みどりの少年団	浜戸川	緑川	宇城市	宇城市豊野町	24	9/21	II	III
8	4	水質	九州テクニカルメンテナンス	坪井川	白川	熊本市	栄橋付近	13	7/20	I	-
9		水質		梶尾川	白川	熊本市	坪井橋付近	13	7/20	II	-
10		水質		坪井川	白川	熊本市	鶴羽田橋付近	13	7/20	II	-
11		水質		井芹川	白川	熊本市	第一池上橋付近	9	7/27	II	-
12		水質		坪井川	白川	熊本市	平成大橋付近	9	7/27	III	-
13		水質		坪井川	白川	熊本市	高橋稲荷大橋付近	9	7/27	IV	-
14		水質		亀川	亀川	天草市	亀川橋付近	11	7/28	II	-
15		水質		亀川	亀川	天草市	桶渡橋付近	11	7/28	II	-
16		水質		木山川	緑川	益城町	荒瀬橋付近	13	8/18	I	-
17		水質		木山川	緑川	益城町	三竹橋付近	13	8/18	I	-
18	水質	木山川	緑川	益城町	新川橋付近	13	8/18	I	-		
19	5	生物& 水質	平小城活性化協議会	内野川	菊池川	山鹿市	内野川上流	8	7/9	II	II
20		生物& 水質		内野川	菊池川	山鹿市	平山温泉付近	8	7/9	II	III
21		生物& 水質		岩村川	菊池川	山鹿市	双板付近	8	7/9	II	II
22		生物& 水質		岩村川	菊池川	山鹿市	湯山付近	8	7/9	III	I
23		生物& 水質		岩村川	菊池川	山鹿市	湯山付近下	8	7/9	IV	I
24		生物& 水質		小群川	菊池川	山鹿市	央付近	8	7/9	II	IV
25	6	生物& 水質	菊池川とその支流を美しくする 関係団体連絡協議会	岩野川	菊池川	山鹿市	鍋田橋上流	39	8/7	III	II
26	7	水質	城南町ほたるを育てる会	滑川	緑川	熊本市	メリ穴公園周辺	40	8/4	III	-
27		水質		柿田川	緑川	熊本市	メリ穴公園周辺	40	8/4	III	-
28		水質		メリ穴 水源	緑川	熊本市	メリ穴公園周辺	40	8/4	I	-
29	8	生物& 水質	玉名市内小学生	繁根木川	菊池川	玉名市	廣福寺橋下	23	8/3	II	I
30	9	水質	宮原ざまわね座	杖立川	筑後川	小国町	宮原 柏田	7	8/3	I	-
31		水質		杖立川	筑後川	小国町	宮原 宮ノ下	7	8/3	I	-
32		水質		志賀瀬川	筑後川	小国町	宮原 関田	7	8/3	I	-
33	10	生物& 水質	ミカゴ会	坂谷川	緑川	甲佐町	打出	6	8/24	I	I
34		生物& 水質		緑川	緑川	甲佐町	井戸江	5	8/24	II	II
35	11	生物& 水質	ましき宝箱	秋津川	緑川	益城町	益城町広崎	14	8/18	II	IV

次頁につづく

表 I - 2 平成 25 年度における県内の団体の参加状況及び調査結果（つづき）

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数(のべ)	調査日	水質評価	生物評価
36	12	生物&水質	滝尾小学校	御船川	緑川	御船町	滝尾小学校前	17	9/19	I	III
37	13	生物&水質	公益財団法人 熊本市下水道技術センター	坪井川	白川	熊本市	八景水谷	11	9/14	III	I
38	14	水質	北甘木親子会	天水川	緑川	嘉島町	北甘木	29	8/18	III	-
39		水質		矢形川	緑川	嘉島町	石塚橋下流	29	8/18	II	-
40		水質		千原池	-	嘉島町	千原ため池	29	8/18	III	-
41	15	水質	薬器堀川をきれいにする会	薬器堀川	白川	熊本市	託麻南中央公園	10	10/28	I	-
42		水質		薬器堀川	白川	熊本市	うと橋下	10	10/28	I	-
43		水質		薬器堀川	白川	熊本市	長嶺西	10	10/28	III	-
44		水質		薬器堀川	白川	熊本市	保田窪放水路	10	10/28	II	-
45		水質		薬器堀川	白川	熊本市	託麻原(渡瀬橋下)	10	10/28	I	-
46		水質		薬器堀川	白川	熊本市	水前寺児童公園	10	10/28	I	-
47		水質		薬器堀川	白川	熊本市	託麻西	10	10/28	I	-
48	16	生物&水質	玉名市立三ツ川小学校	紫根木川	菊池川	玉名市	玉名市三ツ川地内	16	7/18	II	III
49	17	生物&水質	関川・諏訪川流域会議	関川	菊池川	荒尾市	岩本橋付近	40	7/31	II	III
50	18	水質	嘉島西小学校	緑川	緑川	嘉島町	青葉の瀬	73	9/9	II	-
51		水質		緑川	緑川	嘉島町	津志田河川公園	73	9/9	IV	-
52	19	生物&水質	山口地域活動クラブ	町山口川	町山口川	天草市	毘沙門橋	60	7/30	II	I
53	20	生物&水質	宮地岳地域振興会わんぱーく	中岳川	大宮地川	天草市	宮地岳町郵便局付近	20	8/24	II	I
54	21	水質	NPO法人美しい天草づくりネットワーク	西高根川	西高根川	天草市	西高根川	30	8/23	III	-
55	22	生物	海東小学校	砂川	砂川	宇城市	大五橋下	38	7/17	-	I
56	23	生物&水質	理科教育研究会	天月川	球磨川	芦北町	芦北町上白木	17	8/8	I	I
57	24	生物&水質	人吉市立東間小学校	胸川	球磨川	人吉市	田町橋の下	59	9/19	II	I
58	25	生物&水質	人吉西小学校	山田川	球磨川	人吉市	人吉市瓦屋町	63	9/10	I	I
59	26	生物&水質	西原村立河原小学校	滝川	緑川	西原村	西原村河原地内	15	7/17	I	I
								環境団体等		17	
								学校関係		9	
								のべ調査地点		59	
								のべ調査人数		1266	

水系	合計
緑川	16
白川	14
菊池川	13
球磨川	3

調査結果	水質	生物
I	18	12
II	22	4
III	13	5
IV	3	2
V	1	0
合計	57	23

※表中の記載内容は、各調査団体が提出した報告書からわかる範囲で記載しています。

- 階級Ⅰ：快適な水環境
- 階級Ⅱ：親しめる水環境
- 階級Ⅲ：不快を感じない水環境
- 階級Ⅳ：多少不快な水環境
- 階級Ⅴ：不快な水環境

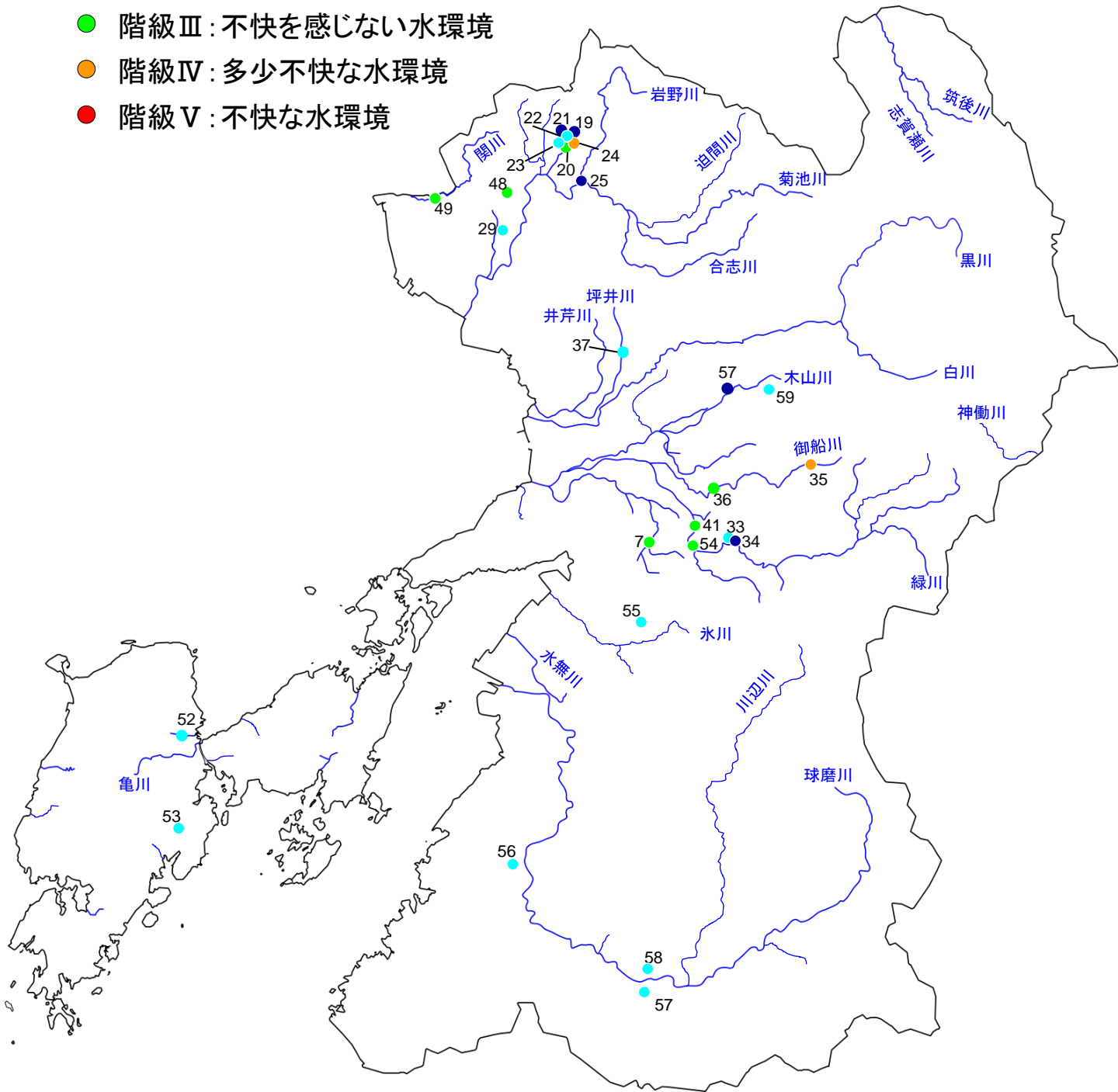


図 I - 1 指標生物評価結果マップ

- 階級Ⅰ：快適な水環境
- 階級Ⅱ：親しめる水環境
- 階級Ⅲ：不快を感じない水環境
- 階級Ⅳ：多少不快な水環境
- 階級Ⅴ：不快な水環境

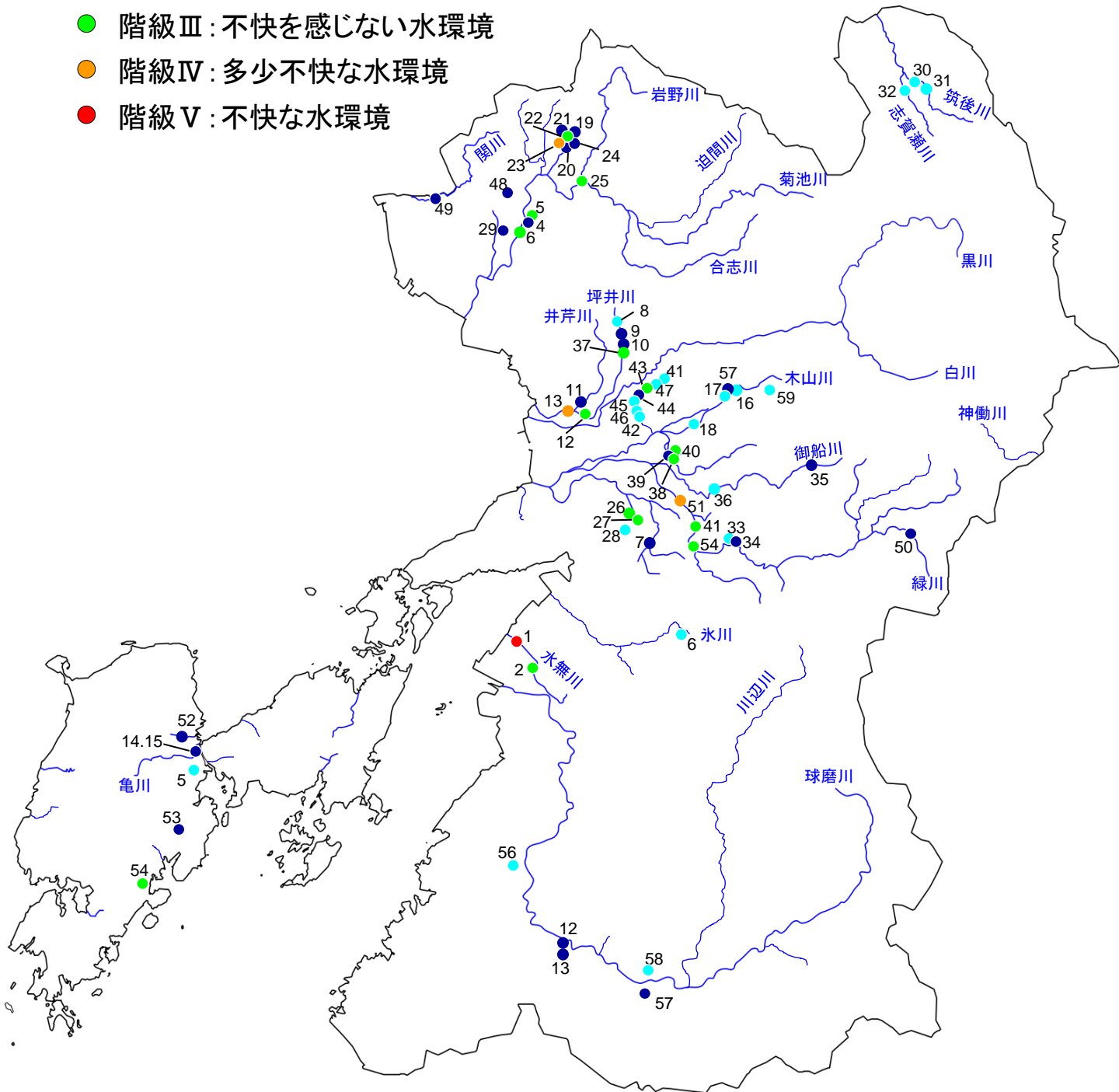


図 I - 2 水質評価結果マップ

みんなの川の環境調査記録用紙

No. 1

①水生生物及び簡易水質調査用

4. 底生生物を調べる

調査河川名	内野川 (水系 内野川)		
調査地点名	①		
調査団体名	平小城活性化協議会(平小城小学校)		
代表者名		参加人数	8人
調査年月日	平成25年7月9日	調査時間	
調査日天候	晴れ	気温	29.5℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	① 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)÷2=	1.5点		判定: II

2. 水質を調べる

a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	① 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	23.5℃	pH (パックテスト)	7.2
透視度	100cm	COD(パックテスト)	13 mg/L
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5=	1.4点		判定: II

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいが	② メロン 3. みかん	
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)		
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色		
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状		
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5=	1.6点		判定: II

その他気づいたことなど

今日の水質調査をやって自分たちの住んでいる所の水がきたない所もあったので石けんなど使う量をちよつとずつへらしていきたい。

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携巢性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		●			
	12.	ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13.	カワニナ			○		
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ					
	17.	ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		0	2	2	0	0
	最も多い種の数(●)			1			
	得点の合計		0	3	2	0	0
底生動物による川の水環境評価の判定			II				

みんなの川の環境調査記録用紙

No. 2

①水生生物及び簡易水質調査用

4. 底生生物を調べる

調査河川名	内野川 (水系 内野川)		
調査地点名	②		
調査団体名	平小城活性化協議会(平小城小学校)		
代表者名		参加人数	8人
調査年月日	平成25年7月9日	調査時間	
調査日天候	晴れ	気温	27.0℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 判定: IV	

2. 水質を調べる

a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	① 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	26.4℃	pH (パックテスト)	8.0
透視度	97cm	COD(パックテスト)	13 mg/L
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 判定: II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 判定: II		

その他気づいたことなど

ヒラタドロムシ、ニッポンヨコエビがとても多かった。

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					○
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
25. ホシチョウバエ						
得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	0	2	1	0
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	2	0	2	1	0
底生動物による		III				
川の水環境評価の判定						

みんなの川の環境調査記録用紙

No. 3

①水生生物及び簡易水質調査用

4. 底生生物を調べる

調査河川名	岩村川 (水系 内野川)		
調査地点名	③		
調査団体名	平小城活性化協議会(平小城小学校)		
代表者名		参加人数	8人
調査年月日	平成25年7月9日	調査時間	10:25
調査日天候	晴れ	気温	30℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 <input checked="" type="radio"/> 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 <input checked="" type="radio"/> 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 =	2.0点 判定: III

2. 水質を調べる

a. 水の色	<input checked="" type="radio"/> 1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	<input checked="" type="radio"/> 1. 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	25.0℃	pH (パケットテスト)	7.0
透視度	72.7cm	COD(パケットテスト)	35 mg/L
c. 透視度	1. 80cm以上 <input checked="" type="radio"/> 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	<input checked="" type="radio"/> 1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	1. 5.0mg/L未満 <input checked="" type="radio"/> 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 =	1.6点 判定: II		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石	<input checked="" type="radio"/> 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ <input checked="" type="radio"/> 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし <input checked="" type="radio"/> 2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 <input checked="" type="radio"/> 2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない <input checked="" type="radio"/> 2. 多い	3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 =	2.4点 判定: IV	

その他気づいたことなど

親しめる水環境にはタニガワカゲロウ類が4匹いてそれが多かったのですごかったです。それに不快な水環境に1匹いてきたないので、きれいにしていきます。

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ	○				
	5.	携巢性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		●			
	12.	ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13.	カワニナ			○		
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ					
	17.	ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類				○	
	19.	サホコカゲロウ				○	
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					○
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシショウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		4	3	2	2	1
	最も多い種の数(●)			1			
	得点の合計		4	4	2	2	0
底生動物による							
川の水環境評価の判定			II				

みんなの川の環境調査記録用紙

No. 4

①水生生物及び簡易水質調査用

4. 底生生物を調べる

調査河川名	岩村川 (水系 内野川)		
調査地点名	④		
調査団体名	平小城活性化協議会(平小城小学校)		
代表者名		参加人数	8人
調査年月日	平成25年7月9日	調査時間	10:30
調査日天候	晴れ	気温	29.0℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 (3) 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2=	2.5点 判定:IV

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	25.0℃	pH (パックテスト)	7.5
透視度	36cm	COD(パックテスト)	20 mg/L
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 (3) 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	1. 5.0mg/L未満 (3) 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5=	1.8点 判定:III		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石	(3) 沈み石
g. 石の大きさ	(1) すいか 2. メロン 3. みかん	
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 (3) 泥(腐敗)	
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 (2) 緑色 3. 白灰黒色	
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5=	2.0点 判定:III	

その他気づいたことなど

自分で思ったよりもたくさんの生き物がいた。とても小さくてみつけるのが大変だった。

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドROMシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					○
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	1	1	1
最も多い種の数(●)		1				
得点の合計		3	1	1	1	0
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

みんなの川の環境調査記録用紙

No. 5

①水生生物及び簡易水質調査用

4. 底生生物を調べる

調査河川名	岩村川 (水系 内野川)		
調査地点名	⑤		
調査団体名	平小城活性化協議会(平小城小学校)		
代表者名		参加人数	8人
調査年月日	平成25年7月9日	調査時間	
調査日天候	晴れ	気温	29.0℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 =	2.5点 判定: IV

2. 水質を調べる

a. 水の色	1. 無色 ② 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	1. 無臭 ③ 臭いあり 臭い()		
水温	28.0℃	pH (パックテスト)	7.5
透視度	42cm	COD(パックテスト)	13 mg/L
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 =	2.4点 判定: IV		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	① すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 =	1.6点 判定: II

その他気づいたことなど

いつもはきれいだと思っていた川がよごれていることなど知らなかったの、知れてよかったです。

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携巢性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類					
	12.	ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類					
	16.	コガタシマトビケラ					
	17.	ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		1	0	0	0	0
	最も多い種の数(●)		1				
	得点の合計		2	0	0	0	0
底生動物による 川の水環境評価の判定			II				

みんなの川の環境調査記録用紙

No. 6

①水生生物及び簡易水質調査用

4. 底生生物を調べる

調査河川名	小群川 (水系 内野川)		
調査地点名	⑥		
調査団体名	平小城活性化協議会(平小城小学校)		
代表者名		参加人数	8人
調査年月日	平成25年7月9日	調査時間	
調査日天候	晴れ	気温	28.0°C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 =	2.0点 判定: III

2. 水質を調べる

a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のおい	① 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	24.4°C	pH (パックテスト)	7.7
透視度	92cm	COD(パックテスト)	13 mg/L
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 =	1.4点 判定: II		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

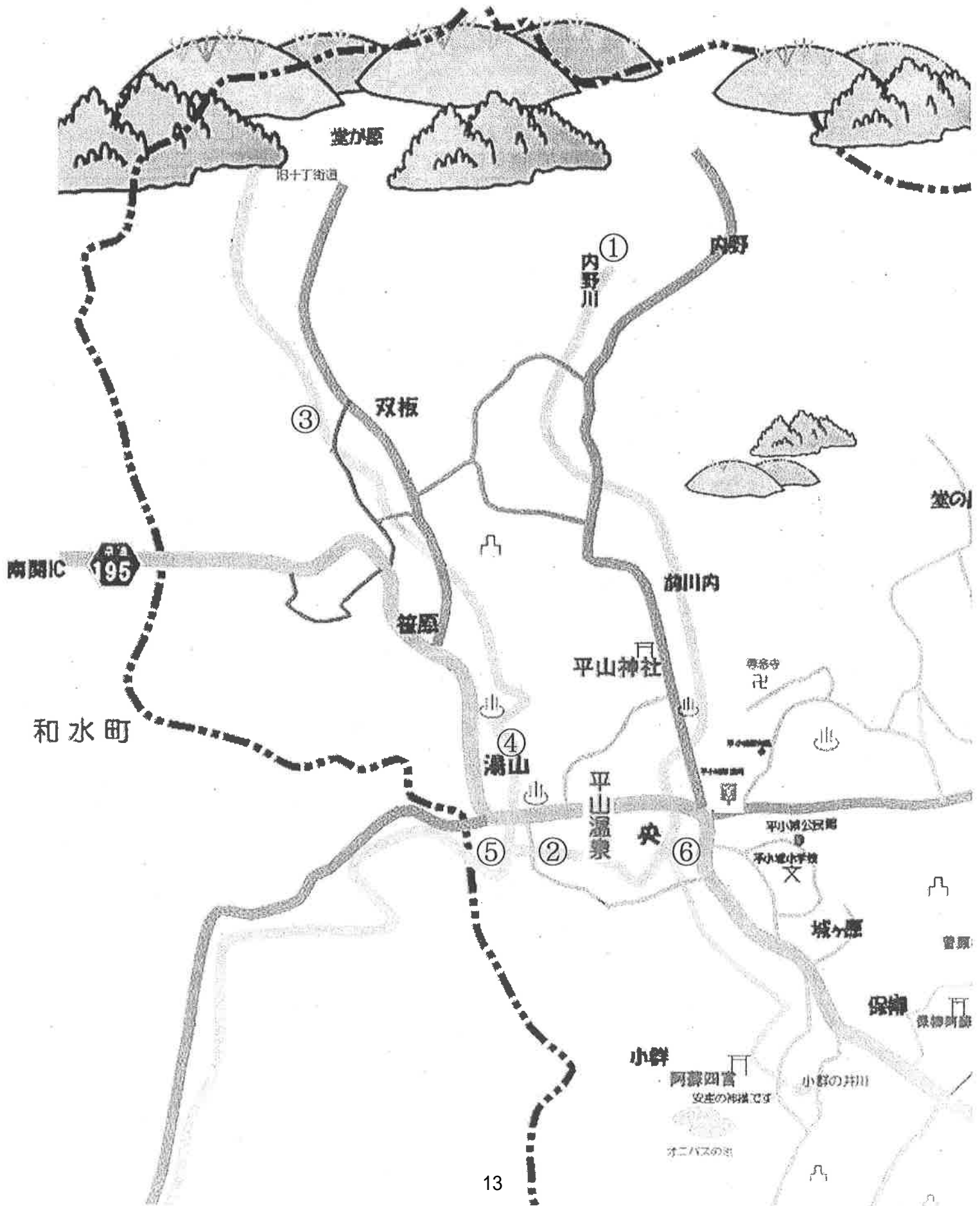
調査場所	早瀬	平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 =	1.6点 判定: II	

その他気づいたことなど

いつもはきれいだと思っていた川がよごれていることなど知らなかったの、知れてよかったです。

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ	○				
	5.	携巣性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類		○			
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類					
	12.	ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドロムシ					
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ					
	17.	ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類				○	
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					●
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		2	1	1	2	0
	最も多い種の数(●)					1	
	得点の合計		2	1	1	3	0
底生動物による川の水環境評価の判定			IV				

ひらおぎ水質検査マップ



かわ みずかんきょうちようさき ろくよう し
川の水環境調査記録用紙 (その1)

No. _____

調査河川名	胸川 (水系 球磨川)
調査地点名	田町橋の下
調査団体名	東間小学校 5年
代表者名	参加人数 59
連絡先住所	

調査年月日	調査時間	天候	気温
H25. 9. 19	9:30	晴	23 °C

1 調査地点の様子を調べる

A 川の地形	1 渓流域	2 山間流域	3 平地流域
B 川の背景	1 森林	2 畑・水田	3 市街地
① 評価基礎点(A+B)/2 = 2.5 点 階級 IV			

2 水質を調べる

水温	°C	21	
a 水の色		1 無色	2 緑茶色 3 白・灰・黒色
b 水の臭い		1 無臭	3 臭いあり
c 透視度	cm	1 80cm以上	2 60cm以上 3 60cm未満
d pH		1 6.5~8.5	3 6.4以下、8.6以上
e COD		1 5.0mg/1未満	3 5.0mg/1以上
② 水質評価点(a+b+c+d+e)/5 = 1.4 点 階級 II			

3 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	3 平瀬
f 石の状態	1 浮石	3 沈み石
g 石の大きさ	1 すいか	2 メロン 3 みかん
h 堆積物の種類	1 なし	2 砂泥 3 泥(腐敗)
i 付着藻類色	1 茶緑色	2 緑色 3 白灰黒色
j 付着藻類量	1 少ない	2 多い 3 マット状
③ 川底評価点(f+g+h+i+j)/5 = 1.2 点 階級 II		

階級	水環境の 快適さ	① 評価の 基礎点	評価点	
			② 水質	③ 川底
I	快適な 水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2 1.4	1.2 1.4
III	不快を 感じない 水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
IV	多少 不快な 水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
V	不快な 水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

メモ 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、水辺の草木の状況、魚がいたか、鳥がいたか、ごみがあったか、何でも気づいたことがあったら書き止めておくことで便利です。

田町橋(市役所近くの胸川)で調査。右岸と左岸を見渡し、川幅は広く、中幅は草が茂り、右岸の流れは瀬となって水量も多い。左岸は淀みとなり流れが止まった状態。生物採取時は大きな石が有り、また岩板が多く、滑りやすく足元に注意を要した。また左岸には人家の排水路が川へおろされていた。水源は峠付近から流れている大きな清流であるが、田中から到る新市内からの排水口が見られた。水生生物は、I~Vのランクまで多岐にわたって採取した。(小さな虫が多い) けがもなくみんな熱心に採取した

かわ みずかんきょうちょうさき ろくようし 川の水環境調査記録用紙 (その2)

No. _____

4. 底生動物を調べる

かいぎょう 階級	No.	しひょうせいぶつめい 指標生物名	みずかんきょうちょうさき 水環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ類					
	4.	チラカゲロウ	○				
	5.	携巢性トビケラ類	○				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7.	ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9.	ヘビトンボ類		○			
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類					
感じない水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドロムシ類			○		
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ					
	17.	ユスリカ類 (白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ				○	
	20.	ミズムシ (等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					○
	23.	イトミミズ類					○
	24.	セスジユスリカ (赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数 (○+●)	6	4	2	1	2
最も多い種の数 (●)	1						
得点の合計		7	4	2	1	2	
底生動物による 川の水環境評価の判定			I				

かわ みずかんきょうちようさき ろくようし
川の水環境調査記録用紙 (その1)

No. _____

調査河川名	山田川 (水紫城川)
調査地点名	人吉市瓦屋村
調査団体名	人吉市西小学校 4年生
代表者名	参加人数 50+13
連絡先住所	電話: - - ()

調査年月日	調査時間	天候	気温
H25.9.10	10:00	快晴	26.5℃

1 調査地点の様子を調べる

A 川の地形	1 渓流域	2 山間流域	③ 平地流域
B 川の背景	1 森林	2 畑・水田	③ 市街地
① 評価基礎点(A+B)/2 =	3 点		階級 V

2 水質を調べる

水温	22℃
a 水の色	① 無色 2 緑茶色 3 白・灰・黒色
b 水の臭い	① 無臭 3 臭いあり
c 透視度	95cm ① 80cm以上 2 60cm以上 3 60cm未満
d pH	7 ① 6.5~8.5 3 6.4以下、8.6以上
e COD	0 ① 5.0mg/1未満 3 5.0mg/1以上
② 水質評価点(a+b+c+d+e)/5 =	7 点 I 階級

3 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
f 石の状態	① 浮石	3 沈み石
g 石の大きさ	1 すいか ② メロン	3 みかん
h 堆積物の種類	① なし	2 砂泥 3 泥(腐敗)
i 付着藻類色	① 茶緑色	2 緑色 3 白灰黒色
j 付着藻類量	① 少ない	2 多い 3 マット状
③ 川底評価点(f+g+h+i+j)/5 =	1.2 点 II 階級	

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の 快適さ	① 評価の 基礎点	評価点	
			② 水質	③ 川底
I	快適な 水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を 感じない 水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少 不快な 水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な 水環境	③ 3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

メモ 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、水辺の草木の状況、魚がいたか、鳥がいたか、ごみがあったか、何でも気づいたことがあったら書き止めておくと後で便利です。

大水のあつて、川全体が
き水いてあつた。川産も平
らな。調査かやりやす
かつた。



年組
名前

かわ みずかんきょうちょうさき ろくよう し 川の水環境調査記録用紙 (その2)

No. _____

4. 底生動物を調べる

階級	No.	指標生物名	水環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I) 快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	<input type="radio"/>				
	2.	ナガレトビケラ類	<input checked="" type="radio"/>				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ類	<input type="radio"/>				
	4.	チラカゲロウ	<input type="radio"/>				
	5.	携巣性トビケラ類	<input type="radio"/>				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	<input type="radio"/>				
	7.	ヒラタカゲロウ類	<input type="radio"/>				
親しめる水環境 (II) 親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)		<input type="radio"/>			
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類		<input checked="" type="radio"/>			
	12.	ブユ類・ガガンボ類					
不快な水環境 (III) 不快な水環境 (III)	13.	カワニナ			<input type="radio"/>		
	14.	ヒラタドロムシ類			<input type="radio"/>		
	15.	コカゲロウ類					
	16.	コガタシマトビケラ			<input type="radio"/>		
	17.	ユスリカ類 (白・緑)			<input type="radio"/>		
多少不快な水環境 (IV) 多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V) 不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数 (○+●)	7	2	4	0	0
最も多い種の数 (●)		1					
得点の合計		7	3	4	0	0	
底生動物による川の水環境評価の判定			I				

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. _____

調査河川名	天月川 (水系 球磨川)		
調査地点名	苜北町上白木		
調査団体名	理科教育研究会		
代表者名	参加人数	17 人	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	25年8月8日	調査時間	
調査日天候	晴	気温	°C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 ② 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点	(A+B)/2 = 2 点 階級 III

2. 水質を調べる

水温	23 °C
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点	(a+b+c+d+e)/5 = / 点 階級 I

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ ① 早瀬 ② 平瀬
f. 石の状態	① 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか ② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点	(f+g+h+i+j)/5 = / 2 点 階級 II

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

- 大雨の後で比較的水量が多かった。
- 田んぼからの流れこみで近くにあったため、その影響で幅広い階級の指標生物が観察された可能性がある。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. _____

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類	○					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○					
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	○					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○				
	9. ヘビトンボ類						
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		●				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ						
	14. ヒラタドROMシ			○			
	15. コカゲロウ類						
	16. コガタシマトビケラ			○			
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水 環 境 (IV) 多 少 不 快 な	18. 貝類						
	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類				○		
	22. サカマキガイ						
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミズ類						
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	7	3	2	1	0
	得点の集計	最も多い種の数(●)		1			
得点の集計	得点の合計	7	4	2	1	0	
底生動物による 川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. _____

調査河川名	町山口川 (水系)		
調査地点名	昆沙門橋		
調査団体名	山口地域活動757		
代表者名		参加人数	50人
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	H25年7月30日	調査時間	10~12時
調査日天候	小雨	気温	27.3℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点	$(A+B)/2 = 1.5$ 点 階級 II

2. 水質を調べる

水温	27.0℃
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点	$(a+b+c+d+e)/5 = 1.4$ 点 階級 II

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

子供 50人

大人 10人

計 60人

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 遅瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点	$(f+g+h+i+j)/5 = 2.8$ 点 階級 V

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. _____

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	●				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	●				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		●			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		●			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			●		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					●
	25. ホシチョウバエ					●
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	3	4	3
得点の集計	最も多い種の数(●)	1				
得点の集計	得点の合計	7	3	4	3	2
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。